

令和6年度高知家おもてなし県民表彰 受賞者一覧

区分	表彰候補者	取り組み内容
団体	高知開成専門学校 学生一同	毎年10月に実施される、高知県おもてなし秋の一斉清掃において、アンパンマン像の清掃を行っている。 10年以上継続して参加している。参加学生は20名～30名程度。
団体	四万十にここに応援隊 (代表 田村 梅一)	観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」のおもてなしとして、2021年9月～2023年12月まで毎週末窪川駅でのお手振り等を実施。 参加人数は、平均20名程度、多い時には、30人を超えるおもてなしを実施。 特に、かかし、仮装、風船、列車と並走し笑顔で手を振るおもてなしランなどで、観光列車のお客様のおもてなしが人気となり、観光列車の名物の一つとなっていた。 主要メンバーの高齢化等もあり、2023年12月をもって主だった活動は終了しました。
個人	式地 由衣 (しきじ ゆい) (額北高校学生)	額北高校の生徒である式地由衣さんは観光振興による地域課題の解決を考え、早明浦ダムのツアーガイドを数回にわたり務めて観光客をおもてなししている。 放流管を増設する大規模改修工事を間近で見ながらダムの役割や魅力などを伝え、県外からのお客様にも大変好評を得ている。 3月20日から3回 早明浦ダム 10人～ × 3回
個人	和田 篤史 (わだ あつし)	クルーズ船来航時、はりまや橋バスターミナルでシャトルバスのお出迎え、観光客案内、バス管理の英語ガイドスタッフとして勤務されています。毎回サムライの格好をし、観光客を楽しませています。
個人	高田 祐輔 (たかた ゆうすけ)	八京の一本桜 (やきょうのいっぽんざくら) 人里離れた山の上にある1本の山桜を先代が丁寧に手入れした結果、毎年見事な桜の花を咲かせている。現在高田さんが引き継いで管理されている。 未舗装の山道の先にあるにもかかわらず、近年口コミで県内外から桜を見に訪れる人が増えている。また、昨年春に放送されたNHKの連続テレビ小説「らんまん」のロケ地にもなり、そのシーンは多くの視聴者を感動させた。